

豪雨災害における市議会の対応

平成30年7月豪雨災害は、これまでの想定を大きく上回る未曾有の被害を市内各所にもたらしました。被災された方々のご意見を受けとめ、市議会として取り組んでいきます。

*豪雨災害被災箇所視察・地元住民との意見交換会開催

8月27、28日に議員全員で市全域の被災箇所を視察し、本郷・大和・木原の町内会役員の方々と意見交換を行いました。

様々なご意見、ご要望をいただきましたので一部ご報告します。



本郷地区

- ・支流も含めて、土砂撤去を早くしてほしい。
- ・川土手、堰の危険な箇所を強固なものにしてほしい。
- ・ダム放流のサイレンが聞こえなかった。ダムの放流も災害に影響してはいないか。

木原地区

- ・河川と道路のインフラ整備、砂防ダムの設置をお願いする。
- ・経済的支援を含めた公的支援をお願いする。県・国へも働きかけを。
- ・柳川を上流から直してほしい。土砂撤去を早急をお願いする。

大和地区

- ・被災しても住み続けたい人が多い。二次災害防止のため、砂防堰堤、治山堰堤を設置してほしい。
- ・ため池の点検が必要だが、林道の倒木等で点検に行けない。
- ・来年4月には農地の復旧をして稲作を再開したい。農地復旧工事費40万円以内でも補助をお願いしたい。

*意見交換会について

平成30年7月豪雨災害により延期することになった「市民と議会をつなぐ意見交換会」につきましては、現状を考慮して今年度は中止といたしました。

*特別委員会の設置

市議会として、今回の災害に対する本市における対応・対策等についてアンケートを実施しました。その結果も含めて、防災・減災や復旧・復興等の課題について調査・研究を行うため、平成30年7月豪雨災害調査特別委員会を設置いたしました。

***議会として意思表明するため、
決議をしました。**

平成30年7月豪雨災害対策の推進に関する決議

(一部抜粋)

本市議会は、災害発生直後から本市に寄せられた多くの支援と善意に深く感謝するとともに、被災された方々が一日も早く、安心した生活を取り戻せるよう災害の早期復旧と更なる安心安全なまちづくりに不断の努力と強い意志を持って取り組んでいくことを表明し、ここに決議する。

平成30年10月9日

三原市議会